

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シダー  
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 嘉忠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松尾 剛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,246	3.9	304	433.8	210	—	125	—
25年3月期第2四半期	5,049	—	57	—	△38	—	△34	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 125百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.90	—
25年3月期第2四半期	△6.00	—

(注) 平成24年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,505	1,444	10.7	251.67
25年3月期	12,972	1,318	10.2	229.77

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,444百万円 25年3月期 1,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,792	6.9	522	162.5	312	—	172	—	29.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,738,000 株	25年3月期	5,738,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	43 株	25年3月期	43 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,737,957 株	25年3月期2Q	5,737,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、新政権の積極的な金融・財政政策により、着実な需要の発現と雇用創出が見込まれ国内需要主導で回復の動きが見られます。一方、欧州政府債務問題等、海外経済を巡る不確実性、為替市場の動向、電力供給制約等のリスクも依然として存在しております。

介護サービス業界においては、急速な高齢化の進行に伴い、医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者の増加、単身・高齢夫婦のみ世帯の増加、介護人材の確保等が喫緊の課題となっております。このような中で医療、介護、生活支援サービス等を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築のため、平成24年度施行の「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」及び介護報酬の改定等で、在宅サービス・居住系サービス等の提供体制の充実に向けた取組が実施されております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、収益面では、主に昨年度、新規に開設した施設において、新規利用者の獲得と充実したサービスを提供することで、施設稼働率の向上に努めました。利益面では、効率的な施設運営と経費削減に取り組むことで利益率の改善に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億46百万円（前年同四半期比3.9%増）となり、営業利益は3億4百万円（同433.8%増）、経常利益は2億10百万円（前年同四半期は経常損失38百万円）、四半期純利益は千1億25百万円（前年同四半期は四半期純損失34百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① デイサービス事業

当セグメントにおきましては、一部の事業所において同業他社の参入等により、利用者数が計画を下回る状況となっておりますが、「7時間以上9時間未満」のサービス提供時間を採用し、より多くの利用者様のご要望にお応えできるようサービス内容と質の向上に努めました。また、労務費を中心としたコスト管理を徹底してまいりました。その結果、売上高は16億72百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は2億47百万円（同120.3%増）となりました。

#### ② 施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存の有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は31億96百万円（同4.9%増）、セグメント利益は3億60百万円（同51.8%増）となりました。

#### ③ 在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は3億77百万円（同4.5%減）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億33百万円増加して135億5百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億7百万円増加し、120億61百万円となっております。また、株主資本は、前連結会計年度末に比べて1億25百万円増加して14億44百万円となりました。

この結果、自己資本比率は10.7%（前連結会計年度末は10.2%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1億48百万円増加して8億71百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は、3億円（前年同四半期比147.5%増）となりました。その主な内訳は、収入要因として、税金等調整前四半期純利益2億10百万円、減価償却費2億13百万円、支出要因として、売上債権の増加額92百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は、5億9百万円（同50.4%増）となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出4億61百万円、無形固定資産の取得による支出33百万円、預り保証金の返還による支出27百万円、収入要因として、預り保証金の受入による収入28百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は、3億58百万円（同1,839.2%増）となりました。その主な内訳は、収入要因として、短期借入れによる収入8億15百万円、長期借入れによる収入8億30百万円、支出要因として、短期借入金の返済による支出9億35百万円、長期借入金の返済による支出3億16百万円、リース債務の返済による支出34百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	723,439	871,660
売掛金	1,624,032	1,716,156
有価証券	20,006	20,000
その他	158,898	174,692
貸倒引当金	△2,740	△2,668
流動資産合計	2,523,636	2,779,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,773,868	3,228,990
土地	1,745,801	1,745,801
リース資産(純額)	3,314,334	3,247,622
その他(純額)	300,576	166,778
有形固定資産合計	8,134,581	8,389,193
無形固定資産	137,796	131,103
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,799,777	1,836,355
その他	379,400	371,769
貸倒引当金	△3,007	△3,050
投資その他の資産合計	2,176,170	2,205,074
固定資産合計	10,448,548	10,725,371
資産合計	12,972,185	13,505,212

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,996	159,651
短期借入金	2,196,000	2,076,000
1年内返済予定の長期借入金	586,432	563,364
未払法人税等	26,150	104,650
賞与引当金	192,982	191,135
その他	712,140	637,561
流動負債合計	3,850,701	3,732,361
固定負債		
長期借入金	3,259,835	3,796,446
リース債務	3,580,555	3,543,657
退職給付引当金	273,965	284,988
長期預り保証金	235,624	238,042
その他	453,076	465,620
固定負債合計	7,803,057	8,328,754
負債合計	11,653,758	12,061,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	578,129	703,802
自己株式	△16	△16
株主資本合計	1,318,422	1,444,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	—
その他の包括利益累計額合計	3	—
純資産合計	1,318,426	1,444,096
負債純資産合計	12,972,185	13,505,212



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,049,443	5,246,903
売上原価	4,674,325	4,607,477
売上総利益	375,117	639,425
販売費及び一般管理費	318,103	335,087
営業利益	57,014	304,337
営業外収益		
受取利息	5,215	5,274
助成金収入	4,314	5,334
雑収入	13,637	13,560
営業外収益合計	23,167	24,169
営業外費用		
支払利息	116,352	116,365
雑損失	2,241	1,496
営業外費用合計	118,593	117,862
経常利益又は経常損失(△)	△38,412	210,644
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,412	210,644
法人税、住民税及び事業税	6,178	90,958
法人税等調整額	△10,168	△5,987
法人税等合計	△3,990	84,971
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△34,421	125,673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,421	125,673

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△34,421	125,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△3
その他の包括利益合計	13	△3
四半期包括利益	△34,408	125,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,408	125,669

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,412	210,644
減価償却費	219,357	213,447
貸倒引当金の増減額(△は減少)	427	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,691	△1,847
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,106	11,022
受取利息	△5,215	△5,274
支払利息	116,352	116,365
売上債権の増減額(△は増加)	△43,061	△92,166
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,931	22,155
その他	146,248	△44,149
小計	418,562	430,170
利息の受取額	186	244
利息の支払額	△116,361	△117,075
法人税等の支払額	△181,143	△13,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,243	300,051
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	9,500	—
有形固定資産の取得による支出	△390,845	△461,199
無形固定資産の取得による支出	△4,460	△33,267
敷金及び保証金の差入による支出	△1,007	△17,393
敷金及び保証金の回収による収入	43,851	259
預り保証金の返還による支出	△30,118	△27,260
預り保証金の受入による収入	33,579	28,968
その他	460	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339,040	△509,987
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,025,000	815,000
短期借入金の返済による支出	△984,000	△935,000
長期借入れによる収入	450,000	830,000
長期借入金の返済による支出	△352,940	△316,457
リース債務の返済による支出	△33,886	△34,981
自己株式の取得による支出	△16	—
配当金の支払額	△85,688	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,469	358,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199,328	148,221
現金及び現金同等物の期首残高	1,076,115	723,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	876,787	871,660

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高				
外部顧客への売上高	1,605,593	3,048,732	395,116	5,049,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,605,593	3,048,732	395,116	5,049,443
セグメント利益又は セグメント損失(△)	112,305	237,635	△3,840	346,100

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	346,100
全社費用(注)	△289,086
四半期連結損益計算書の営業利益	57,014

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	デイサービス事業 (千円)	施設サービス事業 (千円)	在宅サービス事業 (千円)	合計 (千円)
売上高				
外部顧客への売上高	1,672,949	3,196,668	377,284	5,246,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,672,949	3,196,668	377,284	5,246,903
セグメント利益又は セグメント損失(△)	247,451	360,823	△547	607,726

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	607,726
全社費用(注)	△303,388
四半期連結損益計算書の営業利益	304,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。